

# News Release

2020年1月14日

## 接続料金改定の認可申請について

NTT東日本は、本日、総務大臣に対し、2018年度接続会計をもとに算定した2020年度以降に適用する加入光ファイバ、次世代ネットワーク、接続専用線、公衆電話、番号案内等の接続料金について、接続約款変更の認可申請を行いました。

### 1. 接続料金案

別紙のとおりです。

### 2. 実施時期

総務大臣の認可を得た後、速やかに接続約款の変更を実施します。

### 別紙・参考資料

(別紙) サービス別の主な接続料金案

(参考) 接続料と利用者料金関係の検証結果

### 本件に関する問い合わせ先

NTT東日本 経営企画部

Tel 03-5359-3960

E-mail eiki1-ml@east.ntt.co.jp

(別紙)

サービス別の主な接続料金案

1. 加入光ファイバの接続料金

| 区 分                            | 改定後 <sup>※1</sup>            |                              |                              | 現行料金   |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------|
|                                | 2020年度<br>適用料金 <sup>※2</sup> | 2021年度<br>適用料金 <sup>※3</sup> | 2022年度<br>適用料金 <sup>※4</sup> |        |
| シェアドアクセス方式の主端末回線 <sup>※5</sup> | 1芯ごとに月額<br>1,769円<br>【▲1.8%】 | 1,733円<br>【▲3.8%】            | 1,673円<br>【▲7.2%】            | 1,802円 |
| シングルスター方式                      | 1芯ごとに月額<br>2,244円<br>【▲0.5%】 | 2,218円<br>【▲1.7%】            | 2,163円<br>【▲4.1%】            | 2,256円 |

上記料金は、タイプ1-1（平日昼間帯に故障対応を行う場合）の料金。

【 】内は現行料金からの改定率。

- ※1 2018年度の実績をもとに2019年度から2022年度までの費用と需要を予測して設定しています。また、今回申請した接続料については、各年度の実績収入と実績原価の差額を翌々年度以降の接続料の原価に加減して調整することとします。
- ※2 2020年度適用料金は、2018年度の実績収入と実績原価との差額(乖離額)を含んでいます。(シェアドアクセス方式の主端末回線は1,769円のうち▲18円、シングルスター方式は2,244円のうち▲23円)
- ※3 2021年度適用料金は、2019年度の見込収入と見込原価との差額(乖離額)の3分の1を含んでいます。(シェアドアクセス方式の主端末回線は1,733円のうち11円、シングルスター方式は2,218円のうち14円)
- ※4 2022年度適用料金は、2019年度の見込収入と見込原価との差額(乖離額)の3分の2を含んでいます。(シェアドアクセス方式の主端末回線は1,673円のうち21円、シングルスター方式は2,163円のうち28円)
- ※5 シェアドアクセス方式の主端末回線の改定後料金には、毎年度実績原価方式により見直すこととなる局外スプリッタの2020年度適用料金(50円)を含んでいます。

2. 次世代ネットワーク(NGN)等の接続料金

(1) 下記以外の接続料金

| 区 分  |                                | 改定後         | 現行料金        | 改定率    |
|--|--------------------------------|-------------|-------------|--------|
| 関門交換機接続ルーティング伝送機能 <sup>※1・2</sup><br>【IGS接続機能】                                 | 3分あたり <sup>※3</sup>            | 1,307円      | 1,311円      | ▲0.3%  |
| 一般中継局ルータ接続ルーティング伝送機能 <sup>※1・2</sup><br>【中継局接続機能】                              | 1接続用ポート<br>ごとに月額               | 5,333,333円  | 4,812,500円  | 10.8%  |
| 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能 <sup>※1・2</sup><br>【収容局接続機能】                              | 1収容ルータ装置<br>ごとに月額              | 1,064,476円  | 1,204,897円  | ▲11.7% |
| 一般収容局ルータ優先パケット識別機能(10Gbit/sタイプ)<br>(優先クラスを識別するもの) <sup>※1</sup>                | 1契約 <sup>※4</sup><br>ごとに月額     | 2,31円       | 2,01円       | 14.9%  |
| 一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラス)  | 1Mbitまで <sup>※4</sup><br>ごとに月額 | 0.00010953円 | 0.00018151円 | ▲39.7% |
| 光信号多重分離機能(10Gbit/sタイプ) <sup>※5</sup>   | 1局内スプリッタ<br>あたり月額              | 423円        | -           | -      |
| 端末系ルータ交換機能(10Gbit/sタイプ) <sup>※5</sup>  | 1装置ごとに月額                       | 705,208円    | -           | -      |
| 端末回線伝送機能(光信号伝送装置により符号伝送が可能なもの)<br>(1Gbit/sタイプ又は10Gbit/sタイプのもの) <sup>※5・6</sup> | 1光信号伝送装置ごと                     | 72,025円     | -           | -      |
|  | 1光信号主端末<br>回線収容装置ごと            | 15,189円     | -           | -      |
|  | 1保守用光信号主端末<br>回線収容装置ごと         | 12,491円     | -           | -      |

- ※1 2018年度の実績をもとに2020年度の費用と需要を予測して設定しています。
- ※2 端末系ルータ交換機能、関門系ルータ交換機能、一般中継系ルータ交換伝送機能等の接続料金を別に設定しています。当該料金を組み合わせて、上記の適用接続料金を設定します。
- ※3 3分あたり料金には、2019年度IGS交換機接続料0.20円を含んでいます。
- ※4 事業者ごとの予測利用量(契約数・通信量)に応じて事業者ごとの負担額を予め決定します。年度の実績利用量が確定した段階で事業者ごとの実績利用量に応じて精算を実施します。
- ※5 2020年度から2024年度までの費用と需要を予測して新たに設定しています。
- ※6 光信号伝送装置に加え、光信号主端末回線収容装置・保守用光信号主端末回線収容装置の利用数の合計額を適用します。

(2) イーサネットフレーム伝送機能等の接続料金

| 区 分            |           |          |                  | 改定後 <sup>※</sup> | 現行料金       | 改定率   |
|----------------|-----------|----------|------------------|------------------|------------|-------|
| イーサネットフレーム伝送機能 | MA内設備     | 100Mb/s  | 事業者ごと<br>MAごとに月額 | 419,178円         | 371,717円   | 12.8% |
|                |           | 1Gb/s    |                  | 1,077,797円       | 960,229円   | 12.2% |
|                |           | 10Gb/s   |                  | 2,909,423円       | 2,595,607円 | 12.1% |
|                | 県内中継設備    | 100Mb/s  | 事業者ごと<br>県ごとに月額  | 136,364円         | 130,139円   | 4.8%  |
|                |           | 1Gb/s    |                  | 347,533円         | 332,931円   | 4.4%  |
|                |           | 10Gb/s   |                  | 907,784円         | 868,012円   | 4.6%  |
|                | 相互接続用設備   |          | 1装置ごとに月額         | 247,917円         | 196,458円   | 26.2% |
| 端末回線伝送機能       | 100Mb/s以下 | 1回線ごとに月額 | 3,476円           | 3,560円           | ▲2.4%      |       |
|                | 1Gb/s以下   |          | 8,303円           | 8,360円           | ▲0.7%      |       |

※ 2018年度の実績をもとに2020年度の費用と需要を予測して設定しています。

3. 接続専用線の接続料金

| 区 分      |   |          | 改定後 <sup>※1</sup> | 現行料金       | 改定率   |
|----------|---|----------|-------------------|------------|-------|
| 一般専用     | 3.4kHz <sup>※2</sup>                          | 1回線ごとに月額 | 8,454円            | 7,266円     | 16.4% |
| 高速デジタル伝送 | デジタルアクセス<br>1.5Mb/s <sup>※2</sup><br>(タイプ1-1) | 1回線ごとに月額 | 94,868円           | 77,606円    | 22.2% |
| ATM専用    | 1Mb/s <sup>※2</sup><br>(通常クラス)                | 1回線ごとに月額 | 1,564,786円        | 1,038,962円 | 50.6% |

※1 2018年度における実績収入と実績原価との差額(調整額)を2018年度実績費用に加減して設定しています。

※2 接続専用線については、MA内の場合。

4. 公衆電話、番号案内の接続料金

| 区 分          |      |        | 改定後 <sup>※1</sup>     | 現行料金    | 改定率   |
|--------------|------|--------|-----------------------|---------|-------|
| 公衆電話発信機能     |      |        | 2.9548円 <sup>※2</sup> | 2.9199円 | 1.2%  |
| デジタル公衆電話発信機能 |      |        | 2.0882円 <sup>※2</sup> | 1.9372円 | 7.8%  |
| 番号案内サービス接続機能 | IC接続 | 1案内ごとに | 190円                  | 163円    | 16.6% |

※1 2018年度における実績収入と実績原価との差額(調整額)を2018年度実績費用に加減して設定しています。

※2 特設公衆電話のアクセス回線に係るコストを2018年度実績費用に加算して料金を設定しています。

5. 中継光ファイバ、DSL接続の接続料金

| 区 分     |           |                   | 改定後 <sup>※1</sup>    | 現行料金   | 改定率   |
|---------|-----------|-------------------|----------------------|--------|-------|
| 中継光ファイバ |           | 1芯・1メートル<br>あたり月額 | 1.251円               | 1.259円 | ▲0.6% |
| DSL接続   | ラインシェアリング | 1回線ごとに月額          | 80円 <sup>※2</sup>    | 86円    | ▲7.0% |
|         | ドライカップ    | 1回線ごとに月額          | 1,459円 <sup>※3</sup> | 1,485円 | ▲1.8% |

※1 2018年度における実績収入と実績原価との差額(調整額)を2018年度実績費用に加減して設定しています。

※2 DSL接続(ラインシェアリング)については、回線管理運営費(1回線ごとに月額37円)を含んでいます。

※3 DSL接続(ドライカップ)については、回線管理運営費(1回線ごとに月額37円)を含んでいます。

(参考)

2020年1月14日  
N T T 東 日 本

### 接続料と利用者料金との関係の検証結果

(単位:億円)

| サービス          |            | ①利用者<br>料金収入 | ②接続料相当 | ③差分<br>(①-②) |
|---------------|------------|--------------|--------|--------------|
| 加入電話・ISDN 基本料 |            | 2,257        | 1,622  | 635          |
| フレッツADSL      |            | 108          | 94     | 14           |
| フレッツ光ネクスト     |            | 4,594        | 1,991  | 2,603        |
| フレッツ光ライト      |            | 221          | 111    | 110          |
| ひかり電話         | 移動体着等を含む場合 | 1,196        | 211    | 985          |
|               | 移動体着等を除く場合 | 1,016        | 127    | 889          |
| ビジネスイーサワイド    |            | 260          | 136    | 124          |

(注1)利用者料金収入は、2018年度の実績。

(注2)接続料相当は、各サービスで使用する設備ごとの2018年度の実績需要に今回申請する接続料を乗じて算定しています。

(注3)ひかり電話における移動体着等を除く場合については、移動体・PHS・050・国際着及びフリーアクセス・ひかりワイド着に相当する利用者料金収入と接続料相当をトラヒック比(通信時間比)等※を用いて除外。

※勘定科目で把握可能なものについては、個別に金額を把握した上で除外